

# おめでとーいございます

10月29日付けで三辻マツエさんが紺綬褒章を、  
11月3日付けで七俵一行さんが黄綬褒章を受章しました。

## 紺綬褒章受章

三辻マツエさん  
(85歳、夏吉)

三辻さんは、建造百周年を迎えた二本煙突の記念行事に使ってほしいと、田川市に多額の寄付を行いました。

平成14年に77歳で退職するまで助産師、看護師として55年間働いてきた三辻さん。平成15年に夫寅勝さんが亡くなった後、社会になにかできることはないかと考えていたとき、新聞で二本煙突が百周年を迎えることを知り、寄付を思い立ったそうです。寅勝さんや専用水道を引いてくれた三井鉦山株式会社田川鉦業所への感謝の気持ちが届められているそうです。

寄付金は二本煙突をライトアップする照明機材の設置費に使われました。11月1日に行われた「二本煙突建造百周年記念式典」で、点灯式を行なった三辻さんは、「みなさんが、これを見て喜んでくれるので本当に良かったと思います」と黄金色に輝く二本煙突に見入っていました。

## 黄綬褒章受章

七俵一行さん  
(58歳、弓削田)

七俵さんは、昭和49年日鉄鉦業株式会社船尾鉦業所(現船尾鉦山株式会社)入社以来34年間、作業員として採鉦場における機械設備の操作、保守管理に従事し、無事故・無災害を達成しています。

近年は、機械が大型化してきており、いったんトラブルが発生すると大きな事故につながるかねないので、常日頃から保守・管理には特に気をつけているそうです。

また、作業員が粉塵にさらされる時間を短縮するため、色々と工夫を重ねて自動化や機械化を進め、職場環境の改善に努めてきました。さらに、工場周辺は民家が近いので、騒音、振動、粉塵、坑廃水などにも細心の注意を払っているという事です。

七俵さんは、「人に頼らず、自分から色々と改善していったことが評価されました。今後は、後輩の指導、育成に力を入れていきたい」と話していました。

## 文部科学大臣表彰

鎮西小学校と大浦小学校 PTA が文部科学大臣表彰を受賞し、それぞれ柏木順子教育長に報告しました。

鎮西小学校(光井敬夫校長)は、11月13日に長崎県で開催された「全国学校給食研究協議大会」で、学校給食文部科学大臣表彰を受賞しました。

同小では、児童によりよい食生活を営もうとする態度や実践力を身に付けさせるため、各教科・領域に「食」に関する教育の指導を行ってきました。その結果「食への関心が高まった」「朝食の摂食率が高くなった」「基本的な生活習慣の育成が図られた」などの成果が見られました。

報告を受けた教育長は、「食育は、生活者として自立できる子どもを育てるための基本です。今後一層食育の指導に力を入れて下さい」と激励していました。

また、大浦小学校 PTA(佐藤修二会長)は、11月20日に東京都で開催された「(社)日本 PTA 全国協議会年次表彰式」で優秀 PTA 文部科学大臣表彰を受賞しました。

これは、「目指せ日本一」を合言葉に、学校・家庭・地域が一体となって取り組んだ、PTAの協働作業(学習応援団・学校応援団)をはじめ、交通安全少年隊の活動や食育(朝食摂食率100%達成・給食残菜ゼロ)、規範意識の育成(名札着用率100%達成)などの活動が評価されたものです。

井上憲治校長は、「このような活動が子どもたちに自信と伝統と誇りを持たせ、活力ある学校や地域をつくる。これからも日本一の学校を目指して頑張りたい」と話していました。



教育長に受賞を報告する光井校長



教育長に受賞を報告する佐藤会長